

綿羊(めんよう)(sheep)紀元前6000年ごろから家畜化されているらしい。2012年現在の飼育数は中国が最も多約18700万頭。我が国は16000頭、その半分は北海道で飼育されているが、飼育戸数、飼育頭数とも減少傾向にある。食用、羊毛のほか毛皮にも使われる。衣類

様に扱われ
ヤは山羊
バカ
仲
羊
は異

謹賀新年

の分野で羊毛と同じ
ているカシミ
の仲間、アル
はラクダの
間で
と

羊皮紙(ようひし)(parchment)羊の皮を脱毛し薄くぬめたもの。古代から文学や神聖な文書の筆写に使われてきたという。アリスが迷い込んだ不思議な国の裁判では、白い兎が羊皮紙の巻物の告訴状を読みあげた。「ハートのクイーンがタルトをつくた。……ハートのジャックがそいつをぬすんだ。」これってマザー・グースのお話そのまんまじゃん! ムートン(むうとん)(mouton)羊の毛皮のこと。1980年前後にムートンのコートが流行したと記憶している。この背景文の筆者は、当時、ムーミンのような外貌の「ムートン」という名の動物がいると

乙未元旦

思
い
こ
と。
に
使
な
と
ム
の
ラ
を
駆
っ
か
月
に
こ
う
ク
ス

群羊を



と。ムートン(むうとん)のことは、近年では羊といえばアグネス・ラムや、うる星やつらムちゃんのことだった。って猛虎を攻む(くんよう)てもうこをせむ(くんよう)昨年12月に行われた衆議院選挙と。羊頭(ようとう)肉(にく)とう(とう)アベミ(あべみ)のことか? 亡(な)う(う)羊(や)が逃(に)げ(が)て(が)い(が)る(が)こ(こ)の(の)例(れい)が(が)国(くに)の(の)時(とき)は(は)だ(だ)った(った)と(と)

羊を数える(ひつじをかぞえる)「羊が一匹、羊が二匹……」と柵を跳び越えて羊を数えているといつか眠りにつけるといふ。『いい夢も悪い夢もない 目を閉じて羊かぞえる』とは、中森明菜が歌うオフェリアの一節。ある心理学者によると、羊に馴染みがない日本人活性化し、却って眠れなくなってしまうイレン科の多年生水草。夏、水面上

羊補牢(ぼうようぼろ)げた後でその困(こ)む(む)事(こと)を(を)改(か)め(め)と(と)の(の)え(え)。我(われ)は(は)、よ(よ)う(よう)な(な)「想(かん)定(てい)外(がい)言(こと)と(と)免(ま)罪(ざい)さ(さ)れ(れ)る(る)ら(ら)しい。羊(や)を(を)数(か)ぞ(ぞ)え(え)る(る)羊(や)が(が)一(いっ)匹(びつ)、羊(や)が(が)二(に)匹(びつ)……」と

isojin

<http://hpcgi3.nifty.com/bonheur/index.cgi>

その名の刻(午後2時ごろ)に開花すると云われるが、まあ、単なる語呂合わせでしょう。サテュロス(サテュロス)はギリシャ神話にて精霊。上半身が人で下半身が羊、額には角があるという。自然の豊穡の化身として表現されるそう。谷崎潤一郎の短編小説「魔術師」に